

2021年11月28日 主日礼拝 <収穫感謝礼拝>

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌322番「まけやたねをあしたはやく」
(みんなで共に祈ろう) (イエス様についてゆく)

3つの愛
365日の信仰宣言

聖 書 ①② ルカによる福音書11章33節～36節 (P108)
③ コリント人への第二の手紙1章2節～5節 (P278)

音 楽 Cloud By Day (V)

メッセージ ①② 「心が明るくあってほしい」 久保田豊副牧師
③ 「一生最悪! どうしましょう!!」 大川従道主任牧師

賛 美 「遠き国や海のはて」(聖歌397番) 献金
(ご召天: 本田勤兄・高木美智子姉)

頌 栄 「主の名を賛美しよう」 アーメン
祝 禱

「ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの
父なる神、あわれみ深き父、慰めに満ちたる神。」
(Ⅱコリント一の三)

【大和ニュース】

☆「収穫感謝祭・記念礼拝」を心から主を仰いで感謝致します。

- ・ 本日、楽しいJ. PLUS(青年、学生、中高生)“喜びあふれて—!”
- ・ TCC青年礼拝(ZOOM・17時) * 責任役員会(12:30)シャローム館にて

* 今週の祈禱会 ①水曜19時半は説教佐々木副牧師 ②木曜10時半は高木姉
(米国ミラクルチャーチ伝道者)の告別式に合流。司式は大川主任牧師。

☆英語礼拝は、土曜14:00。森チャペル。ジェイソン宣教師夫妻。通訳あり。

* 泉チャペルの大掃除は、土曜日11時より。ご協力を期待します。

☆ロビーでの直売店! リビングライフ・カレンダー、Xマスいろいろ～マスク!

石の枕

私は貧乏の家庭で育てられたことを、心から神に感謝している。それを今はもう天に召された両親に伝えたら、涙して喜んでくれるでしょう。現在、牧師としての聖務を果たせるのは、この不思議な家庭に生まれたからである。

次は、米国のダン・クラークという人の体験談です。

私がまだ十代のころ。サーカスの入場券を買うために、父と私は長い列に並んで順番を待っていた。ようやく、私たちの前にいるのはあと一家族だけ。

私はその家族に強く心を引かれました。その家族には子どもが8人もいて、一番年上でも12才位にしか見えません。あまり裕福そうでなく、着ている服も上等とはいえません。でも行儀良く手をつなぎ、二列に並んでいました。

期待に胸をはずませた子どもたちは、ピエロのこと、象のこと等々、嬉しそうに話していました。どうやら、サーカスを見るのはこれが初めてのようです。

子どもたちの前には、両親がとても誇らし気に立っていました。夫の手をしっかりと握った妻は「あなたは私の騎士(ナイト)よ」と言いたげに、見上げています。

さて、売り場の女性が、入場券の枚数をたずねました。父親は胸を張って答えます。「子ども8枚と大人2枚ください。これで家族にサーカスを見せてやれますよ」入場券の合計金額が告げられました。

すると、妻は夫の手を放し、黙ってうつむいてしまいました。夫のくちびるは震えています。売り場の窓口に身を乗り出し、彼は聞き返しました。

その父親には、それだけのお金がなかったのです。そんなこと、後にいる8人の子どもたちに、どうやって告げようというのでしょうか。

このなりゆきを理解した私の父は、ズボンのポケットに手を入れ、20ドル札を取り出し、何気なく落としました。父は腰をかがめてそのお札を拾い、その男の肩を軽くたたき、「失礼ですが、ポケットから落ちましたよ」

その男は、私の父が何をしようとしているのかすぐ察しました。そのとき、恥ずかしさと落胆から、途方にくれていたのでしょうか。その助けを心から感謝して受けとめました。20ドル札を差し出す父の手をかたく握りしめ、くちびるは震え、ほおには感謝の涙が伝わり落ちています。—父と私は、その晩、サーカスを見ることはできませんでしたが、最高の夜になりました。

* 今日感謝祭！「与えることは、受けることよりも幸いなり」

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: I ペテロ5章～I ヨハネ3章 Bコース: I エゼキエル40章～ダニエル4章